

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

番外編

2017年
4月1日(土)
15:00 ~ 16:50

早稲田「金の鈴」 東京都新宿区西早稲田1-4-14 大井ビル2F

★ どなたでもご参加いただけます。あらかじめメールでお申し込みください。
☆ 終了後、同じ会場で懇親会を開催します。(飲食費は別途ワリカン)
※お申込み時に、懇親会に参加するかどうかもお書き添えください。



会場案内
至 高田馬場駅
早稲田通り
西早稲田
第二西門
西門
中央図書館
17号館
16号館
15号館
14号館
11号館
12号館
10号館
6号館
北門
JR・西武新宿線 高田馬場駅より
学バス[学02]早大正門行き
「西早稲田」バス停のすぐ前
三菱東京UFJ銀行ATMの左の
階段を上った2階

参加無料

NY暮らしで見える 「ロシアの光と影」

報告者: 武隈 喜一

ポグロム、革命、ホロコーストを逃れた
ロシア語移民が、
ニューヨークの文化を作ってきた。
MoMAのアヴァンギャルド展から
トランプ大統領まで、
ロシアとアメリカを語る。

●武隈 喜一(たけくま きいち)

1957年東京生まれ。上智大学外国語学部ロシア語学科、
東京大学文学部露文科卒業。
出版社、通信社等を経て、1994年から1999年テレビ朝日モスクワ支局長。
2016年7月からニューヨーク勤務。

編訳『ロシア・アヴァンギャルドII 演劇の十月』(国書刊行会、1988年)、
『ロシア・アヴァンギャルドI 未来派の実験』(同、1989年、共に共編)、
著書『黒いロシア 白いロシアーアヴァンギャルドの記憶』(水声社、2015年)など。
ニューヨークの文化と政治と生活を「あてらな通信 ニューヨーク篇」、
「メディアの現在」としてメール配信を続ける。
email: kiitake@hotmail.com



トランプーチン新聞



MoMA「A Revolutionary Impulse: The Rise of the Russian Avant-Garde」展より



ブライトンビーチの看板

●問合せ・申込み: 大野康世(おおの・やすよ) E-mail: mxk03216@nifty.com

お申し込みのメールには「桑野塾参加希望」の旨と、懇親会の出欠の有無をお書きください。